

○テーマ：「対馬海峡」

共催：海洋気象学会・水産海洋学会・日本海洋学会西南支部・独立行政法人水産大学校

○日時：2012年12月7日（金）10:00～17:00（予定）

○場所：水産大学校

○コンビナー：滝川哲太郎（水産大学校）・吉川 裕（九州大学応用力学研究所）

○基調講演（2題、40～50分程度）

○一般講演（8～10題、15～20分程度）

（講演者数により変更する場合があります。）

○参加登録料：無料

○シンポジウム趣旨：

対馬海峡は東シナ海と日本海をつなぐ海峡である。対馬暖流は、東シナ海から、この海峡を経て日本海に流入し、熱や淡水、そして様々な物質(栄養塩類や卵仔稚魚等)を日本海内部に輸送している。このため、対馬海峡から日本海にかけての循環や水塊特性だけでなく、海洋生態系、さらには日本海沿岸の気候にまで影響を与えていると考えられる。近年では、東シナ海から輸送される大型クラゲや海洋ゴミの日本海沿岸への被害が問題となっている。こうした背景のもと、大学・試験研究機関等によって、対馬海峡における定点連続観測や船舶による定線定期観測等が継続的に行われている。特に、九州大学応用力学研究所では、海洋レーダを用いた表層海流のモニタリングや、博多-釜山間フェリー「ニューかめりあ」を用いた ADCP(acoustic Doppler current profiler)観測や表層水塊特性のモニタリングによって、重点的に観測研究が行われている。本シンポジウムでは、対馬海峡や、その周辺海域を対象とする気象・海洋・水産の研究者が一堂に会して、過去から最新までの知見を集約する。さらに、今後の対馬海峡における気象・海洋・水産分野の連携研究について議論する。

○一般講演の募集要領

◇締切：2012年9月24日（月）必着

◇必要事項：講演題目、講演者所属・氏名、100字程度の要旨（E-mail、Fax可）

・一般講演の採否結果は、9月末までに通知します。

・メールアドレスをお知らせ下さい。

◇申込先：〒759-6595 下関市永田本町 2-7-1

独立行政法人 水産大学校 海洋生産管理学科

滝川哲太郎

電話: 083-286-5111

FAX: 083-286-7432

E-mail: tetu@fish-u.ac.jp

○講演要旨：

◇締切：2012年11月16日（金）必着

（送付先は講演申込先と同じ）

◇書 式：日本海洋学会の研究発表大会時の講演要旨に準ずる。

- ・ワードプロセッサを用い、A4 版用紙 2 枚以内。
- ・マージンは、上下に 30mm，左右に 20mm で設定。
- ・研究題目、発表者、所属、キーワードを上段（30mm 程度）に記入。
- ・本文は 2 段組が望ましい。